

1. 事業評価説明シート

事業名	砂防事業 [火山砂防事業 (国補)]	事業箇所	南都留郡山中湖村平野	地区名	朝沢 (あさざわ)	事業主体	山梨県
(1) 事業概要 課題・背景 朝沢は、山梨県南都留郡山中湖村平野に位置する流域面積がA=0.33km ² の土石流危険渓流である。本流域は火山地特有のスコリア質であり、渓床勾配も1/8と急峻なため、荒廃により多くの不安定土砂が堆積している。しかし、砂防施設は未整備であるため土石流が発生した場合は甚大な被害となる可能性がある。 保全対象には、人家103戸に加え、第一次緊急輸送道路である国道138号、413号が特別警戒区域内に位置しているため事業優先度は高いといえる。従って、土石流を抑制する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。 (整備率0.0% 100%)		(3) 事業の妥当性評価 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当		妥当・妥当でない <input type="text"/> <input type="text"/>			
整備目標・効果 主要目標 土石流被害の防止 <ul style="list-style-type: none"> 過去の災害実績、緊急度、災害発生の危険度 13点 > 10点以上 被害軽減額 12,287百万円 > 340百万円以上 評価基準値 保全対象 (人家103戸、公共施設 (中央公民館等8箇所)、国道138号・国道413号【第1次緊急輸送道路 870m】、村道3,260m、その他道路 2,790m) 		事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当		<input type="text"/> <input type="text"/>			
副次目標 - 副次効果 被災時の被害波及の防止 国道138,413号 (第一次緊急輸送道路) の保全		経済妥当性 費用便益費 便益 (B) / 費用 (C) = 32.3 > 1.0 ・便益 (B) = 5,849百万円、・費用 (C) = 181百万円		<input type="text"/> <input type="text"/>			
(2) 整備内容と整備量 整備内容 砂防堰堤 (不透過型) 1基 H=13.5m L=78.0m V=4,650m ³		事業実施・規模の妥当性 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である		<input type="text"/> <input type="text"/>			
整備期間 平成27年度～平成32年度 総事業費 約200百万円 (国費110百万円(5.5/10)県費90百万円(4.5/10)) 全体計画 (年度別整備内容) (事業費)		整備手法の有効性 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である		<input type="text"/> <input type="text"/>			
平成27年度 詳細設計 15百万円 平成28年度 用地測量・用地買収・工作物補償 20百万円 平成29年度 砂防堰堤工事 40百万円 平成30年度 砂防堰堤工事 40百万円 平成31年度 砂防堰堤工事 40百万円 平成32年度 砂防堰堤工事 45百万円		環境負荷への配慮 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する		<input type="text"/> <input type="text"/>			
既整備内容・期間・事業費 なし		事業計画の熟度 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている		<input type="text"/> <input type="text"/>			
		総合評価 [貢献度ランク：a]		<input type="text"/> <input type="text"/>			
		【事業位置図等】					

2. 添付資料シート

